

児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所内自己評価

内容		チェック項目	根拠の記載
環境体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切か。	法令に遵守したスペースを確保しています。活動の目的に合わせたスペースを設定し、落ち着いた環境で取り組めるように配慮しています。
	②	職員の配置数は適切か。	法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員または指導員、保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー配慮が適切になされているか。	視覚的支援やレイアウトの見直しなど、利用者様に合わせた環境設定をしつつ、楽しく通っていただけるよう明るく楽しいファシリティを取り入れています。また、角カバーやドアノブカバー、手すり等の十分な安全対策も行っております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	業務に関しては、各自担当をもって実施し、スタッフ間で支援を振り返り、必要に応じて業務改善を行っております。
	⑤	保護者等向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	平成29年4月開所のため、適宜利用者さま、保護者様からの聞き取りを行いつつ改善を行ってきました。約1年経過の平成30年2月にアンケートを実施し結果や改善状況、今後の取り組みについて保護者様にご報告させていただきました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業その会報やホームページ等で公開しているか。	紙面にて保護者様に配布するとともに、ホームページでの公開を行っております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	現在は、利用者、社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価につきましては、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	事業所内研修、外部研修、施設見学を実施し、その後も適宜研修を行っております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	定期的なミーティングや、事例検討会をチームもしくは担当職員複数名にて行い、プログラムの立案を実施しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう、工夫しているか。	利用者さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて楽しく効果的に学べる指導を行いつつ、集団療育の機会ではそれぞれの課題や目標設定を見失わずに気づきの体験や成功体験を積めるよう、多数のスタッフが指導にあたっております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	平日は個別課題を中心に設定し、休日や長期休暇は個別課題に加え地域での活動や余暇活動、共同制作等をきめ細やかに設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか。	アセスメントや個々のニーズや課題に合わせて活動内容を検討し、計画にも反映しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認をしているか。	毎回、プログラム、スタッフの役割、注意事項などを確認しています。また、体調やご家庭の状況、学校や保育園幼稚園での様子等指導に関わる細やかな変化についても職員間にて情報共有を行っております。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	参加できるスタッフ全員で行い、送迎やシフト等で参加できない職員に関しては管理者が責任をもって共有を図っております。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	日々のサービス提供の記録をもとに、プログラムや個別支援の検証や改善につなげています。	

内容		チェック項目	根拠の記載
適切な支援の提供	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	常勤職員（管理者・児童発達管理責任者・児童指導員・保育士）が日々の様子を取りまとめ、定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	ガイドラインの基本活動として、ア）自立支援と日常生活の充実のための活動、イ）創作活動、ウ）地域交流の機会の提供、エ）余暇の提供の4項目があげられますが、当事業所では、ア、イ、エの組み合わせを中心に個々のお子さまのニーズや課題に対応できるよう支援しております。また、ウに関しては町会に加入し、お祭り等の参加等機会があれば積極的に参加をしております。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	管理者及び児童発達管理責任者の2名体制にて参加もしくはどちらかが参加しています。
	㉑	学校等との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	学校等との相互間の情報共有及び支援内容共有を積極的に行っております。
	㉒	医療的なケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか。	看護師等のサポートの必要なお子さま（医療的なケアが必要なお子さま）は現在ご利用していません。必要な事例がありましたら、保護者様と医師と連携を図り、適切な判断、対応を行ってまいります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	新1年生のご利用前には、カンファレンス等に参加し、就学前の事業所と情報交換を行っております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	現在、対象事例はございませんが、カンファレンス等で支援内容などの情報提供に努めます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	適宜、助言を頂いたり、研修に参加させて頂いております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか。	地域交流については、限られた時間の中で実施が難しいことから、実施していません。ただし、外出時は地域の子どもたちが参加する場所に積極的に出かけるなど、一緒の空間で過ごすことを大切にしています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	新宿区障害者自立支援ネットワーク事業に所属し、積極的な参加を行っております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	ご来所時、送迎時、連絡帳、懇談会などで保護者様に報告をし、共通理解を図れるように努めています。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	ご家庭での対応方法について随時、情報提供を行っております。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	契約時に説明をするとともに、事業所内にも掲示しています。個別の具体的な質問があった場合には、都度ご説明をさせて頂いております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	ご相談を頂いたことに関しましては、可能な限り助言と支援をさせて頂いております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	今年度は初年度ということもあり、児童発達支援事業で1度親子遠足及び保護者会の開催を行いました。次年度以降は増やしていきたいと思っております。

内容		チェック項目	根拠の記載
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応しているか。	事業所に、受付者、解決責任者を定め、苦情（その可能性がある場合も含む）があった場合には、調査をしたうえで、迅速かつ適切に対応に努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	FaceBookにて日々の活動の報告をさせて頂いておりますが、不定期になりがちです。来年度からは定期的にご報告できるよう努めます。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか。	個人情報の記載された書類及び記録データ媒体（USB）は、鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできるパソコンにはパスワードを設定しています。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	個々の状態やご希望にあわせて、視覚支援（絵カード・写真）等のツールを用いて意思の疎通や情報伝達を行っております。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。	町内会に所属し、事業所行事を行う際にはご招待させていただき、快く参加、協力して下さるお話をさせて頂いております。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	マニュアルを整備し、保護者様に対しても職員に対しても周知徹底を行っております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	適宜、様々な状況下における避難訓練等を実施しております。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	マニュアルを策定し、雇入れ時研修の際に徹底しております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了承を得たうえで、個別支援計画に記載しているか。	身体拘束に関しましては雇入れ研修で共通認識が持てるよう指導しています。身体拘束を行うことなく対応できるスキルと環境整備を行ってまいります。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	ヒヤリハット事例が起こった場合、報告書を作成し、職員間で共有しています。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	医師の指示のもと、保護者様からのご報告に基づいて対応しております。すべてのお子さまについてアレルギーの有無を確認し、該当物質との接触がないように留意しております。
④⑭	ケガや事故があった場合、保護者に報告しているか。	状況を細かく説明し、謝罪及び今後の対応を含めお話しさせて頂いております。	